



貝原大和の福山市議会ニュース

2025年
Vol.01

頑張る人が報われる福山！

2024年5月1日より、福山市議会議員の立場をいただきました。政党に所属せず、特定の団体の支援を受けず、誰かの地盤を受け継がず、市民目線とビジネス目線を大切に、議会活動に邁進してまいります。政治を身近に感じていただくことを大きなテーマに掲げ、行政の動きや議会の状況をHP、Facebook、Instagram、X(旧Twitter)などを活用して情報発信いたします。問い合わせは365日対応しております。いつでもご連絡ください。

行政報告

福山市より2025年度（令和7年度）の予算が発表されました。テーマは「安心と希望のための挑戦予算～地域の創生に向けて～」。福山市は地域の活力を維持し、誰もが安心して暮らせるまちを目指し、大胆な挑戦を続けます。予算規模は過去最大の約1,998億3,000万円。特に子育て支援の強化、デジタル化の推進、地域の拠点づくりに重点を置いています。

子育て支援の充実の前進

「福山ネウボラ」をさらに強化し、妊娠期から子育て期まで一貫した支援を拡充。ネウボラセンターを開設し、ワンストップ窓口で保育や教育の手続きを簡素化。第2子以降の保育料無償化や給食費負担の軽減も進め、経済的な支援策を強化します。さらに多目的スペースや交流拠点を整備し、学習支援や自主活動の場を提供。放課後児童クラブの受け入れも拡大し、共働き家庭を支えます。



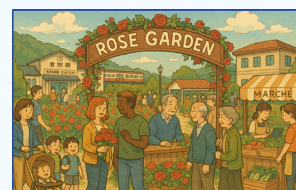
デジタル化の加速

市役所の窓口手続きがオンライン完結し、予防接種券の申請や就学援助費の手続きもスマホで可能に。AIチャットボット導入で24時間対応し、公共施設の予約効率も向上。高齢者の皆様に向けては、スマホ購入支援や講習会を実施し、情報格差の解消にも取り組みます。すべての市民の皆様がデジタルの恩恵を受け、より便利で暮らしやすい未来へ進みます。



地域の拠点づくりの推進

神辺駅・松永駅周辺を整備しにぎわいを創出。旧小学校跡地を活用した交流拠点の整備も計画されています。また2025年は「世界バラ会議福山大会」開催の年。市内にはローズガーデンやマルシェが登場し、国内外の観光客を迎えます。ばらのまち福山の魅力を最大限に発信し、国際都市への飛躍を目指します。



安心・安全な都市基盤整備の向上

学校体育館の空調整備や遠隔監視システムの導入を進め、防災力を強化します。高齢者の皆様の移動支援として、バス・タクシーのおでかけ乗車券の交付やオンデマンド乗合タクシーの導入も推進。福山市民病院の機能強化や周産期母子医療センターの設立で医療体制も充実。より安心して暮らせるまちを目指し、福山市はこれからも挑戦を続けます。



【ばらのまち福山の推進】

Rose Expo FUKUYAMA 2025 及び世界バラ会議の準備状況や入場者数の見込みは？

枝広直幹市長より

専門の運営事業者を選定し、準備から本番までの一貫した体制を構築した。世界バラ会議については、7月の参加登録受付の開始に向けたシステムの構築や、現在127人の申込みをいただいているボランティアの育成などが進んでいる。Rose Expoについては、入場は有料とし、来場者は2万人、そのうち市民の来場を7割、市外からの来場を3割と見込んでいる。



【誰ひとり取り残されない社会のために】

令和6年において、人口カバー率で見ると約84.9%の自治体でパートナーシップ制度が導入されている。福山市においてもパートナーシップ制度の導入を前向きに検討すべきでは。

枝広直幹市長より

性的マイノリティーのための専用相談窓口「にじいる電話相談」や、「にじいるメール相談」に寄せられる相談においては、「福山市へ転職する予定だが、未導入なら導入済みの近隣市への転居を考えている」など、制度の導入を望む声をいただいている。当事者団体や有識者の意見を聞く中で、制度の構築を検討していく。

【保護者の負担軽減について】

給食費の保護者負担の軽減、または負担を増加させないために、本市として今後どのような取組を進めているか。

小林巧平教育長より

保護者負担の軽減については、本市では、この間の物価高騰に対しても、国の財源を活用しながら公費負担を行うことで、給食費の値上げを抑制してきた。今後については、全国一律の制度となるよう国が責任を持って仕組みを構築すべきであると考えており、引き続き全国市長会等を通じ、国に対して要望をしていく。

【賑わいあふれる福山駅前に向けて】

福山駅周辺の駐輪場不足と利便性の低さが、市民生活に与える悪影響について深く懸念をしている。この問題に対して、本市としてはどのような認識を持ち、どのような対策を検討しているか。NEW CASPA 南側に設置されているような、ラック式の駐輪場を、本市が所有する「活用されていないスペース」や、「幅の広い歩道」などへ増設することにより、市民の駅前の利便性向上や、商業施設へのアクセス改善ができるはず。

枝広直幹市長より

福山駅周辺の駐輪場は、駅前広場の整備と一体で整備していくが、当面暫定的な整備について検討を進めていく。シェアサイクルについても、併せて導入の可能性を検討する。

福山駅おもいやり駐輪場

合計21
北口8台
南口13台



天満屋南側民間駐輪場

合計116台
天満屋敷地内62台
福山市公道54台

枝広市長がおもいやり駐輪場の整備を発表↑

天満屋南側にラック式駐輪場の整備を発表→



【投票率向上に向けて】

選挙の投票率低下は民主主義の基盤を揺るがす深刻な問題であり、市民の政治に対する関心や信頼が著しく低下していることを示している。先日の福山市長選挙では、投票率が23.43%にまで落ち込み、過去最低レベルの投票率を記録。若者世代、大学生が政治や選挙について勉強をし、学生が高校生や大学生に対して講義を行うような取組が、現在だと仙台市、高知市、長野市などでも行われている。福山市でも主権者自身が主権者の教育を学び、本人自身が先生役となり出前講座をするというような施策はどうか？

亀山貴治学校教育部長より

議員から提案がありましたことにつきましては、内容をしっかりと見させていただいて、研究そして検討をさせていただく。



【行政のDX化による生産性向上に向けて】

市民サービスのデジタル化の進捗状況と課題について。

枝広直幹市長より

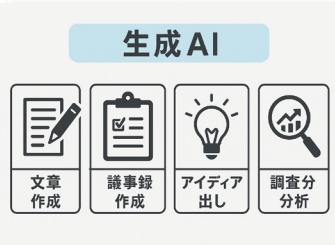
本市ではこれまで、行政手続のオンライン化の拡大をはじめスマート保育、交流館等への施設予約やスマートロックの導入など、市民サービスのデジタル化を進めてきました。今後も、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう、市民の利便性や満足度を高めるサービスを提供していく。

本市においては、現在どのような業務や部署に生成AIを導入しているか。生成AIの導入効果として、労働時間の削減や、意思決定や業務スピードの向上など、具体的にどういった成果が得られているか。

枝広直幹市長より

2023年12月より、政策立案部署に先行導入し、ガイドラインを整備した上で、今年7月から全部署に導入しています。企画のアイデア出しやアンケート結果の整理など、様々な業務に活用し、月当たり約1300時間の削減効果が生まれている。

職員のデジタルリテラシーをどのように向上させていく予定であるか。



枝広直幹市長より

部専門人材で構成するCDO

チームと連携し、マインドセット研修をはじめ職階やスキルに応じた研修等を実施している。その結果、ITパスポート試験の合格者は、昨年度末時点で約130人となるなど、着実に職員の育成が図られている。

【持続可能な祭りに向けて】

大型の祭りやイベントを中心に、本市外の業者が事務局などの立場を受託した場合、下請、孫請の業者が本市外になるケースの増加も想定される。一定の経済合理性は加味せねばなりませんが、このまま本市外の業者への依存度が高まることは、地元業者の経済効果の減少に加え、ノウハウや思いが継承されず、本市のみの力で祭りやイベントを担う力が失われると言える。現在の状況や対策は？

枝広直幹市長より

諸物価の高騰で祭りの運営が全国的に難しくなってきていると聞いているが、長い歴史を持つ本市を代表する2つの祭りをこれからも継続していけるよう、市民の声を聞きながら、福山祭委員会を中心に取り組んでいく。

→ 2025年度の福山ばら祭業者選定書に福山市の業者を利用するように記載されることになりました。



2024年5月に議員としての任期が始まり、6月・9月・12月と3度の一般質問を行いました。特に、政治に関心がなかった方や初めて議会を訪れた方が傍聴に来てくださったことに、心から感謝しています。

【3度の一般質問で意識したこと】

① 持ち時間を最大限に活用

一般質問ではおおよそ45～60分の持ち時間が与えられます。6月の初登壇では2分ほど余らせてしまいましたが、9月・12月は時間をしっかり使い切りました。行政の答弁を深掘りし、的確な追加質問を行うことで、より充実した議論ができました。

② メモに頼らず、自分の言葉で伝える

発言内容を事前に整理し、8割以上メモを見ずに話すことを意識しました。これにより、理事者（行政側）にしっかり向き合い、想いを込めた議論ができるようになりました。

③ 課題指摘だけでなく、提案・提言を行う

問題を指摘するだけでなく、「どうすれば良いのか？」を示すことが重要です。建設的な議論を通じ、行政が実現可能な選択肢を提示することを心がけました。

【傍聴に来てくださった皆さんへ】

この1年、多くの方が傍聴に来てくださり、「意外と面白かった」「福山市の課題がよく分かった」といった声をいただきました。12月は過去最多の18名が傍聴し、皆さんの応援が大きな励みになりました。議会では、福山市の未来を決める大切な議論が行われています。普段の生活では意識しにくいかもしれませんが、ぜひ一度傍聴にお越しください！今後も一般質問の機会を活かし、市民の皆様の声を届け続けます。引き続き、福山市政の「チェック」と「応援」をよろしく願いいたします！



福山市議会の傍聴は
誰でも参加可能！
当然ながら「費用」も
「身分証」も不要です！
お気軽にご来場ください！

福山市議会映像配信▶
本会議 一般質問
2024年12月6日



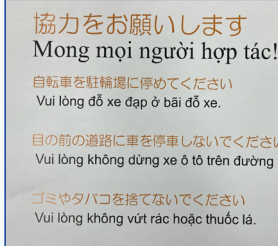
備後圏域議員の集い

笠岡市議会議員のまなべ陽子さんとともに、井原市、尾道市、笠岡市、竹原市、三原市、福山市の市議会議員による意見交換会を開催しました。議会ごとの違いや一般質問、議会だより、地域課題など多岐にわたる議論で盛り上がり、2時間があっという間に終了。今後は半年に一度のペースで開催し、備後圏域での政策提言を目指して連携を強化します。



外国人を含む地域課題に関する改善の取り組み

福山市には約 12,000 人の外国人が暮らしており、そのうち約 3,500 人はベトナム出身の方々。福山駅前のベトナム人経営のお店では、文化やマナーの違いから一部課題が指摘されていました。現在、行政や警察と連携し、改善に取り組んでいます。あわせて、ベトナム人経営者の了承を得て、店頭と駐輪場に注意喚起の POP を作成・設置。お客様への周知も進めており、今後も丁寧な対話を重ねながら対応を続けてまいります。



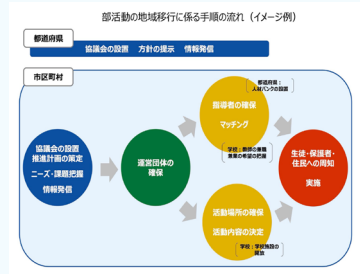
他自治体の議会や委員会見学



府中市、笠岡市、東広島市の議会や委員会を傍聴しました。それぞれの議会では運営方法に違いがあり、例えば一般質問の際、行政側の答弁時間が議員の持ち時間に含まれない仕組みや、プレゼン時にスクリーンを使用できる議会もありました。特に東広島市では、傍聴者へのタブレットの貸出、委員会を別日に開催する方式、即日アーカイブ配信など、開かれた議会を目指す工夫が随所に見られ、大変学びの多い時間となりました。

部活動の地域移行に関する国の動向を学ぶ

少子化や教員の働き方改革を背景に、国が進める部活動の地域移行について、制度の経緯や今後の展望を学びました。今後 10 年で中学生が約 2 割減少する見通しの中、学校単位での部活動運営は困難になるとされ、地域を主体とした新たな体制づくりが求められています。指導者の確保や住民の理解促進など、地域との連携強化が重要です。



中核市サミット 2024in 秋田



秋田市で開催された中核市サミット 2024 に参加しました。「これからをつくる、これからの生きる」をテーマに、全国の中核市が集い、再エネ投資や洋上風力の導入、文化芸術を活用したまちづくりの可能性などを学びました。都市規模の近い自治体同士だからこそ、実践的で参考になる事例が多く、特にカーボンニュートラル実現に向けた自治体の役割や、地域文化が人材育成やにぎわい創出に貢献する視点が印象に残りました。

中国地区若手議員研修 @ 下関市

下関市で開催された「中国若手議員の会」主催の研修会に参加しました。中国 5 県の若手議員 (45 歳まで) が集い、財政健全化や子育て支援、施設運営などの事例を視察しました。平成 30 年度から 5 年間で 91 の事業見直しを断行し、累積で 43 億円もの財政効果を上げた下関市の大胆な事業見直しは、限られた財源の中で実効性ある政策を実現するための「選択と集中」の重要性を認識させられるものでした。



編集後記

初めての議会レポートを作成しました。振り返れば、福山市議会議員としての歩みが始まってからの毎日は、新しい学びと挑戦の連続でした。私は「頑張る人が報われる福山」を実現するため、市民の皆さんの声を届け、地域の課題に真正面から向き合うことを信念に活動しています。このレポートを通じて、私の活動や市政の現状に少しでも関心を持っていただければ幸いです。まだまだ未熟な点もありますが、初心を忘れず、誠実に、情熱をもって邁進してまいります。今後ともご意見・ご支援をよろしくお願いいたします！



大和くん

貝原 大和 (かいはら やまと)

1986 年 (昭和 61 年) 8 月に福山市横尾町で生まれた 38 歳。
千田小学校、幸千中学校、誠之館高等学校、北九州市立大学を卒業。2009 年に株式会社ベンチャーバンク (東京都) へ就職し、その 3 年後 (25 歳) に起業独立し、現在 14 年目。地元福山にて活動したいという想いから、2017 年に会社ごと帰福。2024 年 4 月 7 日の福山市議会議員選挙にて初当選させていただきました。

ホームページ



(主な肩書き)

福山市議会議員 / 合同会社 StrAction 代表社員兼 CEO / 株式会社株式会社 MeaningFull 代表取締役社長
福山駅前商店会 副会長 / 投票酒場シンポジオン 代表 / 福山サクタ代表 / 福山青年会議所

〒720-0066 広島県三之丸町 8-9 2 階
080-4261-0428 (事務所携帯)
kaihara@genkiup.asia